

療育支援プログラム 放課後等デイサービスけこたまな

1. 児童発達支援

3歳児から小学校入学前の未就学児童の療育プログラム。生活力の向上や個別対応の療育支援が主となり、利用児童の人数により小集団での集団支援を行う事もできる。児童の特性を考慮し、その発達状態に合った活動を提供する。

項目	支援の目的	例	目的とする児童	
生活・健康	日常的動作トレーニング	日常生活を行う上で必要な動作やルールを学ぶ。荷物の片付け・着替え・排泄などの日常的な動作の際の身体の使い方をトレーニングで養っていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・雑巾掛け ・ボタン掛け ・バランス遊び ・水遊び ・トイレトレーニング など 	<ul style="list-style-type: none"> ・片付けが苦手 ・不器用 ・細かい作業が苦手 ・生活する上での日常的なルールを知りたいなど
運動・感覚	手先・指先のトレーニング	主に文字を書く・食事の際箸を使えるようになるといった動作がスムーズにできる様になる為に、必要な指先や身体の使い方（姿勢など）を様々な教材等に取り組みながら習得する。楽しくトレーニングに取り組むことで集中力を養い、就学に向けて準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリント ・習字 ・豆運び（箸のトレーニング） ・魚釣りゲーム ・金魚すくいゲーム ・折り紙 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・不器用 ・手先を上手に使えない ・集中力を身につけたい ・箸や鉛筆の持ち方を身につけたいなど
	工作活動	ハサミや道具の使い方を知り、その使い方を身につける。季節の課題などに楽しく取り組みながら、色彩感覚や発想力、想像力を養う。様々な材料を使い触ることで、感触や感覚を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の工作（ハロウィン・クリスマスなど） ・段ボール工作 ・スライム作り ・アイロンビーズ ・プラ板工作 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・工作が好きで集中して取り組むことができる ・発想力や想像力・色彩感覚を養いたい ・苦手な感覚がある ・不器用さを克服したいなど
認知・行動	ビジョントレーニング	視覚機能のトレーニング。目の動き・見る・捉える力を養うことで、思考や動作と連動することができるようになる。しっかり見ることができるようになることで視覚情報が安定し、不安の減少により、感情が安定する事で落ち着いて課題や活動に取り組むことができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・パズル ・数字探し ・シャボン玉タッチ ・風船バレー など 	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着くことが難しい ・話を最後まで聞くことが難しい ・集中力を養いたいなど
	言語・思考のトレーニング	口や顔の筋肉の使い方を身につけるための機能訓練や、「言葉」を認識するための言語のトレーニング等を通して表現力を身につけ、語彙力を養う。表現の方法を身につけることでスムーズに相手に気持ちを伝えることができるようになり、コミュニケーション力の向上にも役立つ。	<ul style="list-style-type: none"> ・シャボン玉 ・絵本の読み聞かせ ・紙芝居 ・発語訓練 ・顔真似ゲーム など 	<ul style="list-style-type: none"> ・発語が明瞭ではない ・お喋りが苦手 ・表情が乏しい ・食物を噛む力が弱いため食事に時間がかかるてしまうなど

言語・コミュニケーション	ソーシャルスキルトレーニング(SST)	課題に取り組んだり、活動や遊びの中で、ルールや決まりがあることを学んでいく。小集団の中で他児との関わり方を経験し、ゲームの勝敗や様々なこだわりを少しづつ柔軟にできるように支援を行っていく。	・ルールがあるゲーム ・かるた ・トランプなど	・友達とのトラブルが多い ・すぐに泣く ・協調性が乏しい ・気持ちを言葉で表すことが苦手など
	言語・思考のトレーニング	口や顔の筋肉の使い方を身につけるための機能訓練や、「言葉」を認識するための言語のトレーニング等を通して表現力を身につけ、語彙力を養う。表現の方法を身につけることでスムーズに相手に気持ちを伝えることができるようになり、コミュニケーション力の向上にも役立つ。	・シャボン玉 ・絵本の読み聞かせ ・紙芝居 ・発語訓練 ・顔真似ゲームなど	・発語が明瞭ではない ・お喋りが苦手 ・表情が乏しい ・食物を噛む力が弱いため食事に時間がかかるなど
人間関係・社会性	ソーシャルスキルトレーニング(SST)	課題に取り組んだり、活動や遊びの中で、ルールや決まりがあることを学んでいく。小集団の中で他児との関わり方を経験し、ゲームの勝敗や様々なこだわりを少しづつ柔軟にできるように支援を行っていく。	・ルールがあるゲーム ・かるた ・トランプなど	・友達とのトラブルが多い ・すぐに泣く ・協調性が乏しい ・気持ちを言葉で表すことが苦手など
	課外活動	課外での活動を通して、交通ルールや社会性を学びます。小集団での行動の中でコミュニケーションやその中のルールを体験する。散歩や公園に出掛け、身体を動かすことで体力をつけ体幹を鍛え、気持ちの発散ができる活動を提供する。	・お散歩bingo ・散歩 ・公園で遊ぶ ・工場見学 ・乗馬など	・交通ルールを身につけたい ・コミュニケーションを取れるようになりたい ・楽しく体力作りをしたいなど

2.放課後等デイサービス

小学校入学後から高校卒業までの期間の児童の療育プログラム。個別対応のSST（ソーシャルスキルトレーニング）や学習支援、課外活動などの様々な活動を通して、社会性やコミュニケーション力を養う為の支援を行う。人との関わりの中で、自身の気持ちのコントロールの方法を知ることで社会生活がスムーズに行える力を養う事ができるように課題や活動を提供する。

項目	支援の目的	例	目的とする児童
生活・健康	日常生活を行う上で必要な動作やルールを学ぶ。荷物の片付け・着替え・排泄などの際の日常的なルールや決まりを知ることで、学校などの社会の場で困る事がなくなるように支援を行う。	・手洗いやうがい ・荷物の整理整頓 ・クッキング ・後片づけなど	・片付けが苦手 ・不器用 ・細かい作業が苦手 ・生活する上での日常的なルールを知りたいなど

運動 ・ 感 覚	体幹を鍛える	身体の使い方（姿勢など）を習得することで、日常生活の中でストレスなく行動ができるようになる。バランス感覚や目の動きをトレーニングで少しづつ体験し、それを楽しく続けることで身につける事ができるようになる。スマールステップでの習得を目指す。	・乗馬(ホースセラピー) ・課外活動(公園・海岸) ・磯遊び ・サーキット運動 など	・不器用 ・手先を上手に使えない ・集中力を身につけたい ・姿勢を正しく保持できない ・落ち着きがない など
	感覚統合	季節の課題などに楽しく取り組みながら、色彩感覚や発想力、想像力を養う。様々な材料を使い触ることで、感触や感覚を身につける。苦手な感覚にも少しづつ挑戦し、チャレンジしながら取り組むことで慣れる事で感覚過敏の緩和にも繋げていく。	・スライム遊び ・公園(ブランコなど) ・砂浜遊び・磯遊び ・クッキング(パン作り) ・工作活動(季節もの) など	・工作が好きで集中して取り組むことができる ・発想力や想像力・色彩感覚を養いたい ・苦手な感覚がある、過敏さが目立つ ・不器用さを克服したいなど
認知 ・ 行 動	ビジョン トレーニング	視覚機能のトレーニング。目の動き・見る・捉える力を養うことで、思考や動作と連動することができるようになる。しっかり見ることができるようになることで視覚情報が安定し、不安の減少により、感情が安定する事で落ち着いて課題や活動に取り組むことができるようになる。	・パズル ・ナンバータッチ ・折り紙 ・風船バレー など	・落ち着くことが難しい ・話を最後まで聞くことが難しい ・集中力を養いたいなど
	ソーシャルスキル トレーニング (SST)	社会生活の中で、善悪の認識ができるような課題を提供する。写真や課題のイラストを見ながら、児童が理解しやすい言葉や方法を用いながら課題に取り組む。他児同士のトラブルなどの際にも、それぞれに話をしながらお互いを認め謝罪ができるようになる。	・避難訓練 ・SST(こんなときどうする)などトレーニング ・掃除 など	・他児とのトラブルが絶えない ・自分の思いが通らないと暴れる ・その場にあった行動が分からぬなど
言語 ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	ソーシャルスキル トレーニング (SST)	課題に取り組んだり、活動や遊びの中で、ルールや決まりがあることを学んでいく。小集団の中で他児との関わり方を経験し、ゲームの勝敗や様々なこだわりを少しづつ柔軟にできるように支援を行う。	・ルールがあるゲーム ・かるた ・トランプ など	・友達とのトラブルが多い ・すぐに泣く ・協調性が乏しい ・気持ちを言葉で表すことが苦手など
	課外活動	土曜日や長期休暇を利用しながら、様々な場所に出かけ、その場所でのルールを体験する。自分本位の行動ではなく、その場にあった行動を知り体験する。活動の際に金銭の支払いを実際にを行うことで金銭感覚も身につける事ができる。	・公共機関を利用した活動 ・買い物学習 ・遺跡巡り ・映画 ・外食活動 など	・季節にあった服装が難しい ・荷物の片付けができない ・公共の場所で落ち着かないなど

人間関係・社会性	ソーシャルスキルトレーニング(SST)	課題に取り組んだり、活動や遊びの中で、ルールや決まりがあることを学んでいく。小集団の中で他児との関わり方を経験し、ゲームの勝敗や様々なこだわりを少しづつ柔軟にできるように支援を行う。	・ルールがあるゲーム ・かるた ・トランプなど	・友達とのトラブルが多い ・すぐに泣く ・協調性が乏しい ・気持ちを言葉で表すことが苦手など
	課外活動	土曜日や長期休暇を利用しながら、様々な場所に出かけ、その場所でのルールを体験する。自分本位の行動ではなく、その場にあった行動を知り体験し習得する。活動の際に金銭の支払いをすることで金銭感覚も身につける事ができる。	・工場見学 ・乗馬 ・買い物学習 ・公共交通機関を使っての外出活動など	・交通ルールを身につけたい ・コミュニケーション力を身につけたい ・知識や行動力を身につけ自身に繋げたいなど